

仏教保育

12

Dec.

 伝えよう ^{いのち} 生命の尊さ ^{ほとけ} の心

はじめに

世界遺産で知られるブッダガヤは大菩提寺を中心に各国の寺院が立ち並んでいます。国際仏教興隆協会が運営する印度山日本寺もそこからほど近い位置にあり、建立されて43年を数えます。その日本寺の境内に菩提樹学園があります。貧困家庭の子どもに無償で給食付きの保育を行う施設です。

戦後、インドのネール首相が「宗教の融和による平和の実現」として当時荒廃していたブッダガヤの復興を発案し、世界へ向

公益社団法人日本仏教保育協会（緑谷一雄理事長）は11月7日、当協会本部事務局において「インド菩提樹学園運営委員会」を開催しました。今回は、公益財団法人国際仏教興隆協会事務総長・佐藤雅彦先生、同協会総務部・大工原彌太郎先生のお二人が見えられ、インドの物価上昇や寄付金の減少等により学園の運営にも厳しい影響が出ていることが報告されました。しかし、貧困家庭への支援への思いは同じ。菩提樹学園の灯を消さないための今後の対応等について協議が行われました。

けて協力を呼びかけました。日本の仏教界有志もインドにおける仏教復活を願って国際仏教興隆協会（K B K K）を設立。政財界の協力も得て1973年に日本寺が建立されました。菩提樹学園と無料で医療奉仕を行う光明施療院は日本寺建立以来福祉事業として続けられ、これまで日仏保も菩提樹学園には絶やさず支援を続けてきました。

しかし、ブッダガヤ復興護持を發願した世代も代わり、インドの物価上昇と寄付金の減少が福祉事業運営に深刻な影響を及ぼしています。関係者は現代の

平成28年度「菩提樹学園運営委員会」開催 「菩提樹学園支援への存続願う！」

平成28年11月7日／本部事務局

■新入園児について

世代に改めて日本寺の建立の意義やこれまでの活動を伝え、先人のインドへの報恩の思いの継承を訴えています（『中外日報』2016年10月28日発行記事より要旨抜粋・転載）。

繰り上がってきますので、新入園児も同数でと考えています。幼稚園教育という観点からも急激に減員する訳にもいきません。また、教員の減員においても同様の観点から直近には踏み切れず、止むを得ずパート2名を減員しました。

■各事業別実質経費について 平成27年度（2015）

入園児の受付は例年、1月上旬から始まります。2016年度は35人に絞らせて頂きましたが、2017年度もできれば同数の35人の入園を考えています。年少・年中がそれぞれ35人

支出内訳については左の表をご参照ください。（資料より抜粋）

総収入計	43,654,808 円
支 出	42,669,738 円
菩提樹学園支出内訳	(6,847,559 円)
・インド（単位：円）	
人 件 費	3,953,433
消 耗 品 費	1,293,912
旅費交通費	300,312
水道光熱費	500,433
雑 費	266,137
福利厚生費	154,255
通信運搬費	6,850
印刷製本費	725
・日 本（単位：円）	
旅費交通費	306,204
通信運搬費	3,256
雑費・消耗品費	52,352
保 険 料	9,690

問題は来年度の予算確保ですが、従来の半額、およそ 3000 万円程度の確保がやっとという見通しです。募金・浄財を仰ぐ努力してはいますが、厳しい見通しです。

菩提樹学園がどのような位置にあるか、ブッダガヤではどのような評価を受けているかを、第三者的に調査してもらいました。概要を説明させて頂きます。

◇
インド・ビハール州ガヤ県ブッダガヤ郷「印度山日本社会事業」調査実施報告書より
(2016 年 9 月 18 日)

調査チームリーダー・大橋正明

菩提樹学園のみ、要旨抜粋

● 目的

ブッダガヤの子どもたちを対象にした、無料の保育施設。1977 年開園以来、3 歳から 6 歳までの貧困家庭の子どもたちを対象に、毎年 200 人の園児の給食付き無料教育。「自分で考え、正しい方法で行動できる子ども」を教育目標に、それぞれの年齢に応じた 3 年間の指導を実施。

● 生徒数

長年、1 学年 2 クラスで 3 年間の 6 クラス。定員 210

名(1 学年 70 名)だが、緊縮による教員減で規模を縮小し、2016 年度から 38 名減の 172 名。入学可否を見極めるための 2 歳児対象の月 1 回の短時間テスト・クラスには、45 名が登録されている。

在籍している園児のカーズトは、マハダリットのブイヤー 75%、ダリットのパスワーン 15%、次いで EBC のムスリムとクムハールが数%を占めるはずだが、13 年度では、ブイヤー 52%、パスワーン 17%、ムスリム 8%等でブイヤー以外の上位カーズトが多くなっている。

● 内容

● 授業時間 年少・年中組が 8 時半～12 時半。年長組は 13 時半まで。給食後降園。

● 教育内容 II ナーガリー文字指導、英語と数学の因数分解。暗記中心の内容だがそれらのレベルはかなり高い。習熟度は小学校 2 年生に編入の実力は十分と言える。一方で情操教育、芸術文化、体育などもよくやっている。

● 健康診断は、以前は年に 2 度実施していたが、現在は年に 1 度となっている。

● ドナーは、貧困な子どものエンパワメントより、子どもの成績を見て評価する傾向が強く続

いている。但し、できない子は退園ではなく留年させたり、補修を受けさせるなどしている。

● カリキュラム、年間のプログラムは 2008 年から変更なし。校長のソバ先生によれば、個々の子どもに合わせた Writing などの教育レベルは上げているという。

● 教員

● 教員資格のあるのは 1 名。残り 12 年生や 10 年生終了のレベル。

● 現在、教員は 7 名。専科講師 2 名おり、水準は確保している。

● 給与は就業年により 50000 ～ 150000 Rs.。校長のソバ先生は 230000 Rs. 十役職手当。7 名に対して約 930000 Rs.。有資格者が教える公立校より安い、周辺の NGO 系や私立よりは厚遇。

● データとしては、39 年分の学籍簿あり。

● 園児の家庭訪問の記録もある。

● 就学前児童の教育ニードの確認

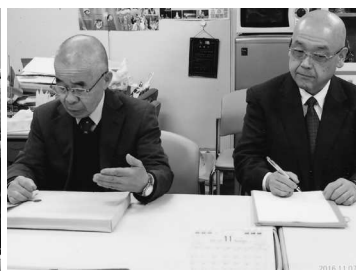
ブッダガヤやその周辺は、外国から資金を得て学校を開設・運営する NGO や寺院などが他地域と比べてアンバランスなほど数多く存在している。更に月額 500 ～ 1000 Rs. の学費の

私立学校も、それに劣らない数で存在している。

菩提樹学園周辺の寺院立や私立の学校には就学前教育を行っているケースも多く、菩提樹学園創設当初に比べて就学前教育ニードは相当小さくなっている。但し、公立小学校では就学前教育を行っていないため、菩提樹学園が果たす役割はまだ存在していると言える。

しかし、このまま園児の減員

11 月 7 日、本部事務局での菩提樹学園運営委員会



菩提樹学園運動会の様子 (2016. 10. 19)



が続けば、向こう 3 年間で現在の半分ほどの規模になる可能性は高く、菩提樹学園がこれまで果たしてきた教育の成果の維持が難しい状況になることは避けられないと思料する。

◇

この後、調査報告をもとに状況打開の方法等について協議が続けられ、「菩提樹学園」存続に向けた努力を続けることを確認しました。

菩提樹学園運動会の様子 (2016. 10. 19)



日本仏教教育学会 「第25回学術大会」より報告

平成28年12月3日／愛知学院大学名城公園キャンパス（名古屋市中区）

12月3日、愛知学院大学名城公園キャンパスアガルス・タワーにおいて標記の大会が開催されました。この大会は、教育に携わる先生が日頃の研究・実践の成果を持ち寄り、仏教教育の果たすべき役割や今日的課題などについて発表し、議論を交わしながら更なる学びを深めることを目的としています。

開会式の後、午前の部・第1部会と第2部会、理事会を挟んで午後の部・第1部会と第2部会に分かれ、シンポジウムなど含む17名の先生方が発表され、実り多い一日となりました。本稿では当協会講師としてご指導頂いている佐藤達全先生（育英短期大学教授）はじめ、仏教教育・保育の実践の成果について発表された先生方（3名）を抜粋でお伝えします。

現代教育の盲点と仏教教育

～幼児教育におけるお手伝いの意味～

佐藤達全先生（育英短期大学教授・日仏保講師）

（1）子育ての現状

現代は、自然科学をはじめとした様々な分野の研究が進み、そこで得られた知識や情報を活用することによって、生活環境が飛躍的に改善され、私たちは

快適な生活が送れるようになった。それに伴って、知識を重視する傾向も強まり、子ども時代から「勉強」することや「知識を増やす」ことに関心が集中し過ぎていえるように思われる。

勉強することは大切であり

それを否定するつもりはないが、身体の発達はもちろん、精神的な発達の道筋は更に複雑である。乳児や幼児には個人差も含めて、それぞれの発達に合った望ましい生活がある。乳幼児にどんな知識を詰め込みさえすればその成果が表れるのではなく、心身に破綻をきたすことさえある。それにも関わらず、ますます早期教育に向かっていくのではないだろうか。

（2）日本の家庭でのお手伝い

ところで、そうした「便利」で「快適」と喜んでいる生活に「落とし穴」はないだろうか。現代人の生活は、私たちが「自然」から遠ざかり、「身体活動」をしなくなることもある。これは大人にも子どもにも当てはまる。

人間の生命は、身体活動と精神活動が相互に作用しあう中で営まれている。大切なことは両者の調和である。もちろん、単

純に「昔に返ろう」などと言うつもりはない。現代は身体を使って厳しい労働からは解放されるようになったが、その一方で、身体活動と精神活動の調和が崩れているのではないだろうか。子どもに当てはめると、「お手伝い」をすることが少なかったことである。

現代の日本では、子育て中の多くの保護者は「お手伝いしなさい」ではなく「お勉強しなさい」と言い、子どもが机に向かっていると安心する。

（3）子どもの発達の道筋

子どもの発達の道筋を基準にした場合、こうした状況は好ましいことであろうか。答えは明らかである。それは幼稚園や保育園における保育内容を示した「幼稚園教育要領」や「保育所保育指針」に、幼児期の活動の基本が「あそび」として示されているからである。あそびは身体活動であり、お手伝いにつながる。

長い人生の土台が形成される幼児期には、自分以外の「ひと」と関わりながらの身体活動が重要な意味をもっている。しかも、このことは身体的な発達のもとより、精神的な発達にも大きな影響を与えるはずである。

(4) お手伝いの学習への影響

禅の修行では座禅や読経だけでなく、作務が大きな意味を持つている。大人の場合は作務というが、子どもに当てはめると

「お手伝い」である。

その幼児の教育における、お手伝いの意味について考えてみたい（これより質疑応答で意見交換を行った）。

幼児期における情操の芽生え

～仏教保育の実践を通して～

佐藤和順先生（岡山県立大学子ども臨床講座学部教授）

(1) 研究の目的

子どもたちにとって、その後何年にもわたって続くことになる学校教育の入り口に当たるものが、幼稚園・保育所等である。

保育を通して子どもは多くのことを学ぶ。幼児期に学んだことは子どもの原体験となり、その後の成長に影響を与えるものと考えられる。幼児期に仏教保育を受けることが、その後の成長にどのような影響を与えるのであろうか。特に、保護者の宗教に対する態度、仏教保育に関する理解・共感が子どもの情操の芽生え等に影響を有すると考える。本研究は、幼児期の子どもの保護者を対象に宗教に対する態度、及び仏教保育の実践に理解度・共感度を検証し、園にお

(2) 研究の方法

いての仏教保育の実践における子どもの情操の芽生えとの関係性を明らかにし、今後の学校教育機関における宗教教育の可能性を模索するものである。

宗教に対する態度及び仏教保育の実践について保護者がどの程度理解・共感しているのか、子どもの情操の芽生えと関係性があるのかを質問し調査により明らかにする。研究対象は A 県にある同一学校法人に属する仏教保育を実践している幼稚園 3 園の保護者である。

宗教に対する態度についてはシユプランガーの価値理論（理論・経済・審美・宗教・社会・権力）に基づいた 6 種類の価値志向性を測定する尺度を用い

る。価値を興味・関心の対象としてではなく主観的に体験されるものとして捉えている点が尺度の特徴である。具体的には「宗教や信仰の世界は、自分とは無縁だ」と思う」「自分の人生にもいつかは終わりが来るということを意識しながら生きている」等の質問の回答について得点を算出し、分類するものである。

仏教保育の実践についての理解度・共感度については、「園の方針、教育目標を理解している」「音楽法会の目的、内容を理解している」「音楽法会は子どもの情操教育に役に立っている」等の質問の回答について得点を算出し、分類するものである。

宗教に対する態度、及び仏教保育の実践についての理解度・共感度の関係性及び情操の芽生えに寄与するような要因を検証する。

仏教保育の実践としては、『音楽法会』及び『ののさまのことは』『音楽法会』に注目する。

『音楽法会』とは、毎月 25 日に幼稚園に隣接の本堂に係属する園児が合同で集合し実施する仏教行事であり、子どもの情操面での育成・人の話を聞く態度の涵養を目的として実施されている。

『ののさまのことは』は、毎月発行の『園だより』に掲載の月間の保育目標に関する仏教的観点からの解説である。

(3) 調査結果の分析及び考察

調査対象者は、基本的には仏

「保育所実習事前指導」に関する研究

～一人一人を大切にしている授業について～

駒井美智子先生（横浜創英大学子ども教育学部教授）

(1) 研究の目的

わが国では少子高齢化が急速に進展し、人口構成のバランスが崩れてしまいつつある。こうした状況の中で、我が国の将来を担う「次世代人材育成」は喫

緊の課題であり、乳幼児に対する「充実した保育」はその中心に位置づけられるべき課題である。その際に、中心的役割を果たすのが「保育者」である。

現在多くの保育者養成学校では学生自身の「活性化」を目指して、授業方法・指導方法の改善が試みられている。しかしながら、「何が活性化をもたらすか」「自体、統一した見解を得ることは難しく、それぞれの養成校、それぞれの教員が独自の考

(2) 「保育所実習事前事後指導」の授業概要

え方に基づき試行錯誤を繰り返しているのが現状であろう。具体的事例を示して考察する。

表「シラバス」

- 1 回 内容
- 2 回 実習の意義
- 3 回 保育所実習 1 の内容
- 4 回 保育所の生活 ① 0、1、2、3 歳児クラスのディリープログラム
- 5 回 保育所の生活 ② 3、4、5 歳児クラスのディリープログラム
- 6 回 実習の心構え ① 実習態度
- 7 回 保育所の役割と保育士の職務について
- 8 回 実習の心構え ② 実習目標

- 9 回 実習の心構え③保育士に求められる資質や特性
- 10 回 観察記録の取り方とまとめ
- 11 回 実習日誌の書き方
- 12 回 部分実習の指導計画①絵本・紙芝居
- 13 回 部分実習の指導計画②制作活動（ペープサート・手遊び等）
- 14 回 オリエンテーションに向けての実習生のマナー
- 15 回 実習後の手続きも含めた準備の最終確認

(3) 保育の3機能管理

保育の3機能管理・保育行為の満たすべき機能として、「興味性」「幼児性」「教育性」の3機能を指摘する。「興味性」は幼児が興味を持つような保育を、また「幼児性」は幼児が十分に理解することが出来るような保育を、それぞれ実践すべきことを意味する。更に「教育性」は、幼児を健全な成長へと導くような保育を意味する。

保育士はこれら3機能をすべて満足するような保育内容・保育教材をデザインすべきなのである。

(4) まとめ

保育力アップや即戦力は、そう簡単に育つものではない。其々の学生の気質や性格、学生の人的環境の背景にあるからである。

保育園・幼稚園・幼保連携型認定こども園に就職した1年目からすぐに役立つ、すぐにできるものでもない。日々の授業の中での積み重ねなど、たくさんの経験をすることでアップしていくのである。

幼児期における

宗教的情操感育成のための海外研究

柏まり先生（岡山県立大学子ども臨床講座学部準教授）

(1) 問題の所在

子どもを取り巻く環境は厳しい。わが国では、依然として児童虐待やしつけ・指導と体罰が混同される事件も少なくない。また、「子どもだから」という大人側の利己的な考え方も根強く存在していることは否定できない。更に、子どもの育ちの問題は、いじめや引きこもり、自己肯定感の低下等、多様化して

いる。

こうした課題を受け、子どもの権利の保障や養護に関する実効的な方策を検討することが喫緊の課題とされている。子どもの権利を理解することは、権利主体である子どもにとって重要である。しかし、子どもの権利条約に関する内容に着目した実践研究は殆どない。

幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎となる人間性を育む

(2) 研究の目的

本研究の目的は、子どもの権

重要な時期である。宗教的情操教育は人間性の教育であり、人格形成の基本に影響を与えるものとされている。また、宗教的情操教育のためには、幼少年期からの教育が非常に大切であると言われている。

子どもの権利に関する意識を育むことは、幼児の情操感の涵養に通じるものと考ええる。子どもの健全な育ちを支えるためには、宗教教育の観点から、幼児期からの情操感を育成するため先進的知見を得ることが不可欠である。



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 ジャクエツ

www.jakuetsu.co.jp

利条約に準じた子どもの権利を、権利主体である子どもにどのように理解させるのかということ为先進事例から学び、幼児期からの宗教的情操感育成に援用することが可能かどうかを検討することである。

先進事例として、子どもの権利に関する意識が高いとされるスウェーデンに着目する。

スウェーデンはナショナルカリキュラムにおいて、子どもの権利の重要性を明確に保持する姿勢を見て取ることができる。

スウェーデンでは、就学前に子どもたちが民主的価値観の基礎を身につけるよう援助してい

る。民主的価値の基礎とは、人間の生命の不可侵性、個人の自由と尊厳、誰もが平等であること、男女の平等、弱者や傷つきやすい者との連帯感である。他者への思いやり、公平で平等な態度を身につけること、自分と他者の権利を理解し尊重することも含まれる。子どもが有する権利を就学前から意識させているのである。

このような理念・カリキュラムを有するスウェーデンの就学前保育の状況を検証することは、幼児期からの宗教的情操感の芽生えに有用と考える。

第13回理事会・第10回運営審議委員会

平成29年1月23日(月)

受付 午後2時00分～2時30分
会議 午後2時30分～3時50分
会場 増上寺光摂殿

平成28年度第2回仏教保育研修会

平成29年1月23日(月)

受付 午後3時45分～4時00分
研修会 午後4時00分～5時30分
会場 増上寺光摂殿
講師 吉田正幸先生(有限会社 遊育)
テーマ 詳細が決定次第お知らせいたします。
参加費 無料

新年懇親会

平成29年1月23日(月)

受付 午後5時30分～6時00分
懇親会 午後6時00分～
会場 ザ・プリンスパークタワー東京
会費 15,000円

関西地区連絡協議会

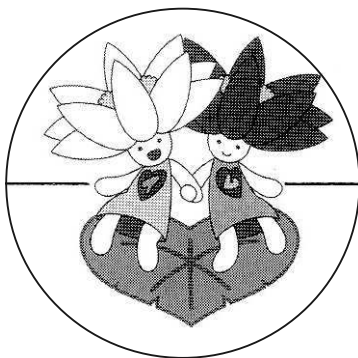
平成29年2月8日(水)

受付 午後3時00分～3時30分
報告会 午後3時30分～4時30分
懇親会 午後5時00分～7時00分
会場 ホテルグランヴィア京都

養成機関連絡協議会

平成29年2月23日(木)

受付 午後3時30分～4時00分
協議会 午後4時00分～
懇親会 午後6時00分～
会場 芝パークホテル
テーマ 詳細が決定次第お知らせいたします。





成道会

(敬称略)
次号へつづく

園 主 長谷川 匡俊 〒260・0812 千葉市中央区大蔵寺町4575 電話 043・2693・7965 大蔵寺文化苑大蔵寺幼稚園・慈光保育園	園 長 野上 良仁 野上 浩 〒193・0944 東京都八王子市館町1629 電話 042・661・3046 社福・電光会八王子ひまわり保育園	園 長 三置 里司 〒514・0803 三重県津市柳山津興3310 電話 059・228・4406 三重保育園	日仏保理事 長 井藤 圭端 〒652・0032 神戸市兵庫区荒田町3・17・1 電話 078・511・0167 兵庫県仏教保育協会	園 長 梅田 静子 〒158・0093 東京都世田谷区上野毛2・15・15 電話 03・3704・1881 鈴蘭幼稚園	園 長 山科幼稚園・西念寺保育園 白旗 文雄 〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879
学・春福寺第一・第二幼稚園 園 長 高山 久照 〒179・0074 東京都練馬区春日町3・14・24 電話 03・3999・8739 だん王保育園	園 長 信ヶ原千恵子 〒607・8387 京都市左京区川端通三条上ル法林寺 門前町36 電話 075・761・2211 だん王夜間保育園	園 長 信ヶ原雅文 〒607・8387 京都市左京区川端通三条上ル法林寺 門前町36 電話 075・761・2211 社福・讃仰会法善寺保育園	園 長 中山 斉 〒115・0053 東京都北区赤羽台3・24・2 電話 03・3900・9606 千葉文化幼稚園	名誉園 長 高山 照襄 〒264・0028 千葉市若葉区桜木4・16・38 電話 043・231・0304 金の峯幼稚園	日仏保理事 長 安藤 文隆 〒165・0022 東京都中野区江古田3・9・9 電話 03・3385・0014 東岡幼稚園
園 長 金子 英滋 〒380・0847 長野市若松町1028 電話 026・234・5858 パドマ幼稚園	園 長 友松 浩志 〒101・0021 東京都千代田区外神田3・4・10 電話 03・3251・8683 神田寺幼稚園	園 長 小澤 宏 〒183・0021 東京都府中市片町2・4・1 電話 042・364・7651 宗・高安寺 高安寺保育園	園 長 西村 英昭 〒737・0022 広島県呉市清水2・1・26 電話 082・325・5671 呉あそか幼稚園	園 長 松井 大圓 〒710・0055 岡山県倉敷市阿知3・20・7 電話 086・425・0141 御国幼稚園	園 長 関岡 俊二 〒206・0021 東京都多摩市連光寺2・24・6 電話 042・374・6040 学・高野学園多摩みゆき幼稚園
園 長 鎌田 文恵 〒980・0814 仙台市青葉区霊屋下23・5 電話 022・227・4292 学・瑞鳳学園 おたまや幼稚園・茂庭幼稚園 ビッパラ保育園	園 長 清水 博雅 〒191・0034 東京都日野市落川943 電話 042・591・1688 学・清谷学園 日野わかさ幼稚園	園 長 丹羽 義昭 〒340・0032 埼玉県草加市遊馬町430 電話 048・925・1741 認定こども園 あずま幼稚園	園 長 樋口 威道 〒146・0084 東京都大田区南久が原2・30・5 電話 03・3756・0505 社福いまいづみ鶴の木いまいづみ保育園	園 長 榎本 崇子 〒183・0014 東京都府中市是政3・6 電話 042・361・7452 宗・西蔵院 是政保育園	園 長 鈴木 啓介 〒099・4113 北海道斜里郡斜里町本町46・10 電話 015・223・3880 学・斜里大谷園認定こども園 斜里大谷幼稚園
園 長 杉本 智研 〒232・0002 横浜市内南区三春台19 電話 045・231・0290 横浜れんげ幼稚園	理 事 長 川並 弘純 〒271・8555 千葉県千葉市岩瀬550 電話 047・365・1111 聖徳大学・聖徳大学短期大学部	園 長 戸田 了達 〒178・0064 東京都練馬区南大泉5・6・47 電話 03・3922・3368 妙福寺保育園	園 長 小山内定代 〒610・1112 京都市西京区大枝北福西町4・3 電話 075・332・2808 洛西花園幼稚園	園 長 柳澤 則子 〒230・0063 横浜市鶴見区鶴見2・3・29 電話 045・581・3162 總持寺保育園	園 長 新出 光祐 〒380・0921 長野市栗田465 電話 026・226・7685 学・ルンビニ学園ルンビニ幼稚園
園 長 菅原 諭貴 〒049・2672 北海道一海郡八雲町野田生160・11 電話 013・766・2527 野田生こばと保育園	園 長 猪野 直樹 〒737・0052 広島県呉市中央2・4・14 電話 082・323・5430 学・西方寺学園 西方寺幼稚園	園 長 吉岡 棟憲 〒960・1101 福島市大森字南中道47・1 電話 024・545・0816 学・福島ルンビニ幼稚園	園 長 松井 大圓 〒319・2142 茨城県常陸大宮市上岩瀬382 電話 029・553・4789 永徳 眞隆	園 長 清野 英俊 〒983・0841 仙台市宮城野区原町2・1・66 電話 022・293・4930 宗・延命寺 今泉保育園	園 長 樋口 威道 〒146・0093 東京都大田区矢口2・26・17 電話 03・3758・0074 日仏保運営審議委員

事務局日誌

- 11 / 7 「仏カリ」「仏教保育」編集会議
事務局会議
- 11 / 9 「平成 28 年度菩提樹学園運営委員会」
「ほとけの子」編集会議
- 11 / 11 「仏カリ」企画会議
「ほとけの子」拡大会議
- 11 / 29 「ほとけの子」拡大会議

育休、最長2年に延長！ ～親も企業も複雑？～

待機児童問題は、恒久的な社会的現象になってしまったのでしょうか？ 官民共に歩調を合わせながらその解消に向けた対応を講じてはいますが、依然として預け先探しが困難な状況から脱けられないのが現状のようです。

無認可ながら保育士の人数など一定の基準を満たす「企業主導型保育所」については、設置企業が施設分として支払う固定資産税などを半減するなど、優遇措置を平成 29 年度税制改正大綱に盛り込むことにしたようです。

また、厚労省では育児休暇を最長 2 年間に延長する方針を固め、子どもの預け先が見つかる前に育児期間が終わってしまう保護者を救済し、女性の離職を防ぐことを狙いとして、「育児・介護休業法」の改正案を来年の通常国会に提出する方針です。「保育所が見つからずに仕事を辞めてしまうことを防ぐ」のが狙いだと政府は主張していますが、育児期間が延長された分、女性にばかり負担や不利益が増えるのではないかとの懸念が、企業側にも働く側にも根強いようです。

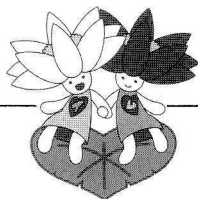
育児に使える休暇を拡大し男性の育児を促すなど、企業の自主的な取り組み、例えば「男性の育児取得を義務化」にするなども、強く議論すべきと思うのですが……。

編集後記

■民間投資を呼ぶ、不孝をまき散らす、賛否に分かれて右顧左眄したカジノ法案でしたがついに可決されました。正式名は「IR 推進法案」。IR とは「Integrated Resort」の略で「統合型リゾート」という意味です。目的は「観光及び地域経済の振興に寄与するとともに財政の改善に資する（以下略）」とあり、理念では『地域の創意工夫及び民間の活力を生かした国際競争力の高い魅力ある滞在型観光を実現し（以下略）』と謳っています。もとより、2020 年開催の東京オリンピックに向けて世界からの観光客をターゲットにしたものです。このカジノでのお金のやり取りは『賭博とは見做さない』ということですが……■古来より『博打』ほど割に合わない遊びはないと言われてきました。利益の大半は主宰側、即ち『胴元』に入るからです。カジノの影には『泣きつ面』が垣間見える思いがします■来年は「酉年」。物事の始まりを告げる幸先の良い動物として知られています。【看〓臘月尽（みよみよるうげつづく）】「臘月」とは陰暦の 12 月のこと。あつという間に 1 年が去っていく、の意です。来る年に何を期待されますか？「良いお年を！」。

(O・I)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011 東京都港区芝公園 4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX 03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月 1 回 1 日発行 (1 部 315 円)



仏教保育綱領

慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全 4 巻

○おたんじょう (12 場面) ○四つの門 (13 場面) ○おさと (16 場面) ○ねはん (12 場面)

セット定価 本体 ¥20,000 (8%税込 ¥21,600) ※分売不可

脚本・絵／諸橋精光 画面 38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を 4 巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版

鈴木出版株式会社 〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-4-21 ☎03-3945-6612 (保育営業部) FAX 03-3945-6616 <http://www.suzuki-syuppan.co.jp/>